



# 産直ニュース（農・畜・水産）24週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。 生活クラブ関西

\* よやく・る 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

## 今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
24週	河内晩柑⑨		小玉すいか③(!)			パイナップル(ボゴール)⑦			
	肥後グリーンメロン①(!)			梅酒用青梅(全曜日1kg、火木3kg・5kg)					
25週	河内晩柑⑩		パイナップル(ピーチ)②			さくらんぼ①			
	肥後グリーンメロン②(!)			梅干し用生梅(!)			落ち梅(!)		
26週	河内晩柑⑪					パイナップル(ハワイ)①			
	肥後グリーンメロン③(!)					桃①(!)			
27週	パイナップル(ハワイ)②								

\* (!)は調整の可能性有ります。 \* カタログ注文青果は除きます。

### ■ さくらんぼ（山形県・米沢郷牧場）は凍霜害で大幅な減収となっています！！

注文書配布週に2回目の企画については欠品となることや産地直送企画の中止案内を行いました。

※産直ニュース19週号にて

6月2日～3日に現地を訪問し、被害状況と出荷見通しを確認しました。

今シーズンは、開花が例年より2週間前後早くなりました。その開花中を中心に凍霜害が発生しました。花ビラが茶色く変色した園地もあったそうです。

さくらんぼは、樹を覆う高さのハウスに植えられており、収穫前になると雨に当たると割れてしまうため、雨除けのビニールを上部に張り、鳥による食害を防ぐために目の細かいネットを周りに張り巡らせます。

この作業には人手や大変な手間がかかりますが、ほとんどさくらんぼの着果していない農家では、この作業を断念し、収穫をあきらめた農家が2軒ありました。残念ながら今年の収入は見込めないようです。生産者のがっかりした表情を見ると、どのような言葉を掛けたら良いかわからないという状況でした。

樹の位置や品種によって結実の状況が違っており、中には「もう収穫済み？」と見間違ふような樹も見られました。その他の生産者も例年の2割から3割程度の収穫量となっていました。最後に訪問した新野さんや横山さんの2軒が例年の6～7割程度の収穫量が見込めそうであったことが唯一の救いと感じました。



一粒しか着果していない



良く着果している園地

### ■ よやく・る産直梅のお知らせ ～続報～

4月・5月の朝夕の低温で実太りが遅れ、5月末からの多雨と気温の上昇で急激に熟してきています。今年は例年になく雨が多く、6月8日頃から急に梅が落ち始めたとの事。「原因は雨が多すぎる事で梅の生理がおかしくなっているのではないかと、この時期にこんなに梅が落ちるのは生まれて初めてだ」と今年還暦を迎える山本さん。24週(6/13～6/16)お届けの梅酒用は、一部黄色がかった梅が混ざりますが浸けるのには問題ありませんので、そのまますぐにご利用ください。